

まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

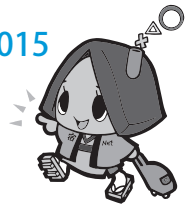
TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日：平成27年7月1日 定価：150円 発行人：清澤正人 印刷：山陽印刷株式会社

7-8月号 2015

(合併号)

Vol.240



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

「第93回全旅連全国大会in佐賀」を開催	1	全旅連青年部広報室	6
平成27年度全旅連理事会・通常総会を開催／省庁便り	3	全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
第18回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告	4	全旅連協定商社会名簿	8

「第93回全旅連全国大会in佐賀」を開催 “結束の力”また新たな宿泊業としての大きな自信へ

「佐賀から世界に発信！ 感動日本の宿」

急増する訪日外国客や規制緩和への対応強化

全旅連は6月3日、佐賀県の佐賀市文化会館で第93回全国大会を開いた。「佐賀から世界に発信！感動日本の宿」の大会テーマのもと、全国から組合員はじめ全旅連関係者など約1000人が参集し、地域間で格差が生じているインバウンド対策や旅館の防災対策などを盛り込んだ大会決議を採択した。前日の通常総会で新たに就任した北原茂樹会長(京都)は「全国大会は同業同士の組合員が相集い組織を更に強固なものにしていく絶好の機会でもある」と述べ、全旅連が更に大きな組織になっていくことに期待を寄せた。4期8年会長を務めた佐藤前会長には感謝状が贈られた。



あいさつする北原新会長と開会の言葉を述べる小原佐賀県理事長

小原佐賀県理事長の開会のあいさつに続いて北原新会長は「インバウンドの拡大に対し、規制緩和による新たなビジネスモデルは向かい風といえるが、その有効性を受け止めて取り入れる姿勢が必要」とあいさつ。深刻化している人手不足問題対策としては労務管理、就業規則の見直しなどをもって、現場の労働生産性を高めるよう求めながら、「若い人たちが旅館ホテルで働くことが、大きな喜びとなり、誇りと思えるようにすることが全旅連に課せられた大きな課題である。一歩ずつ着実に取り組んでいきたい」と述べた。

このあと来賓の、厚生労働省の新津幸義生活衛生課長補佐、佐賀県の山口祥義知事、佐賀市の赤司邦昭副市長、自民党衆議院議員の田中和徳組織運動本部長、観光庁の石原大観光産業課長、中華圏旅館商業同業公會全國聯合會の徐銀樹会長が祝辞を述べた。

表彰式では厚生労働省健康局長表彰(15名)、全国生活衛生同業組合中



佐賀市文化会館で多くの組合員を迎えて行われた式典



式典では佐藤前会長に賞賛を、北原新会長には激励を込めた拍手が送られた

来賓祝辞を行う左から新津生活衛生課長補佐、山口知事、赤司副市長、田中本部長、石原観光産業課長、徐会長

央会理事長感謝状(31名)、永年勤続表彰(150名)と「人に優しい地域の宿づくり賞」の表彰が行われ、また、佐藤前会長には北原新会長から有田焼で出来た感謝状が贈られた。大会宣言、決議の採決へと続き、全旅連青年部が「第3回旅館甲子園」への熱き想いを語ったあと、次期大会開催地の東京都組合のメンバーが登壇。そして万歳三唱のあと、最後に「全旅連をこれまでに引っ張ってこられた佐藤前会長とこれから牽引する北原新会長に拍手を送りたい」という熱い言葉に、会場からはあらためて両氏に対して感謝と賞賛、そして激励と期待の意が込められた大きな拍手が送られ、式典は強い結束力を見せながら幕を下ろした。



インバウンド増強に対する期待も込められた来賓の祝辞

第93回全旅連全国大会・表彰



各賞を代表して受賞する
左から米澤（高知県）、木
村（三重県）、川崎（東京
都）の各氏

「人に優しい」賞表彰



業界の振興と発展に貢献
した佐藤前会長には有田
焼の感謝状が贈られた



大会宣言と決
議を行う淵村
川越の両理事
長と式典を締
めくくつた村
木理事



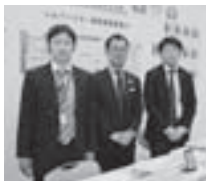
「人に優しい」賞での
厚生労働大臣、全旅連
会長、選考委員会、観
光経済新聞社社長賞
のみなさん



力強く行われた万歳三唱



次期大会の開催地となる
東京都のみなさん



39社（46小間）の出展が
あった展示会場

情報交換・交流会もここかしこで和やかに



長崎県と埼玉県の女将
さんたち。右は鹿児島
県のみなさん



石川県全生と鳥取県の
のみなさんによる語らい
の一時

青年部が「第3回旅館甲子園」に熱き想いを!



式典では青年部の桑田部長
（左）、塚島副部長らが第3
回旅館甲子園開催に向けて
の意気込みを語った

一堂に会した笑顔・笑顔・笑顔の大懇親会



佐賀市のマリトピアで行われた大懇親会



懇親会場を盛り上げた島田洋七やはな
わのみなさんらによるアトラクション



小原理事長による抽選会



沖縄・大分を中心に会話
も弾む各県のみなさん

全国大会開催に向けてボルテージが上がる前夜祭



役員らによる全国大会前夜祭会場



唐津市長（前列左端）らを迎えて行わ
れた前夜祭。左は会場を魅了した
唐津市出身の佐藤和哉さんによる
しの笛



大会前に行われた「からつ曳山
展示場」と「旧高取邸」の見学

北原新会長を正式に承認、新副会長には5氏



「新たな発展に努めていきたい」と語る北原新会長

全旅連は6月2日、佐賀県唐津市の唐津シーサイドホテルで、平成27年度理事会に引き続いて通常総会を開き、北原茂樹氏(京都府理事長)の会長就任を正式に承認した。また、役員人事では新副会長に野澤幸司(関東甲信越ブロック、新潟県理事長)、多田計介(北陸ブロック、石川県理事長)、岡本厚(近畿ブロック、大阪府理事長)、井上義博(九州ブロック、福岡県理事長)の各氏、また会長代行には佐藤勘三郎副会長(東北ブロック、宮城県理事長)が就任した。



記念品を手にあいさつする佐藤前会長



役員改選で新たに副会長に就任した野澤、多田、岡本、井上の各氏

北原新会長は、立ちふさがる諸問題に挑み、期待に応えたいとする抱負を述べた。退任した佐藤前会長は「東日本大震災の被災者の受け入れや東京電力の損害賠償など間断なくいろいろな問題が押し寄せたがみなさまの協力で乗り切ることができた」と感謝の意を述べた。議事では、平成26年度事業報告並びに収支決算及び監査報告、平成27年度の会費賦課金案などすべての議案が承認された。

全国旅館ホテル事業協同組合第15回通常総代会では、26年度事業報告並びに決算、27年度事業計画案など各議案承認後、役員改選が行われ、理事会にて代表理事に北原茂樹氏(全旅連会長)が選任された。

二団体合同耐震会議開催

6月9日、全旅連と全国旅館協会は合同耐震会議(小原健史委員長)を開催した。耐震改修促進法の改正法に基づいて昭和56年以前の旧耐震基準で建築された5000㎡以上の旅館ホテルの耐震診断結果報告期限が平成27年末に迫っているなか、現状の課題分析と対応を協議した。全旅連からは北原会長、野澤副会長、西村青年部政策担当副部長、清澤専務、全国旅館協会からは、針谷会長、浜野、新山耐震委員、佐藤専務が出席した。

マイナンバー制度(番号制度)が来年1月に開始

本年10月からマイナンバー制度が導入され、国民一人ひとりに対し12桁のマイナンバー(個人番号)の通知が始まり、来年1月から番号の利用がスタートする。マイナンバーは、住民票を有する全ての人に一人一つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人情報(個人番号)が同一人の情報であることを確認するために活用されるもの。内閣府は、マイナンバーは行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤であるとしている。

これに伴って、マイナンバー制度は個人の生活のみならず、あらゆる企業の業務に影響してくるものであり、企業にとっては今年重要な取組み課題の一つとなっている。マイナンバーは個人を特定するための番号で出生時から死亡時まで原則、変更されない数字となっており、情報を無闇に漏洩されないよう気を付ける必要がある。マイナンバー制度については、厚生労働省をはじめ多くの関係省庁がホームページで公表しているの、情報収集で参考とされたい。

マイナンバー関連HP

マイナンバー 社会保障・税番号制度(内閣官房)

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

厚生労働省(マイナンバー特設サイト)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000062603.html>

消費税の適正な転嫁を求める特措法の順守を

消費税の円滑かつ適正な転嫁に支障が生じないよう、実効性のある転嫁対策等を実施する必要があるとした「消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法(「転嫁特措法」)」の期限が、このほど法律改正により、平成29年3月31日から平成30年9月30日に延長された。転嫁対策特措法は平成26年4月1日からの消費税率の引き上げに伴って平成25年10月1日に施行されたもの。法では、あたかも消費者が消費税を負担していない、または、その負担が軽減されているかのような誤解を消費者に与えないことや、納入業者に対する買いたたき、競合する小売業者の消費税の転嫁を阻害することにつながらないようにするため、事業者が消費税分を値引きするなどの宣言や広告を行うことを禁じている。

「消費税の円滑かつ適正な転嫁のために」パンフレット URL:http://www.mof.go.jp/comprehensive_reform/tenka_pamphlet.pdf



第18回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

厚生労働大臣賞:春蘭の宿 さかえや(長野県)

視察対象事業:旅館の社員教育ノウハウを活用して、地域の人財育成に貢献

長野県洪温泉にある同旅館は昭和2年開業、現社長の湯本晴彦氏は5代目となる。先代(現代表の父親)の時代は高度成長期に加え、長野オリンピックなどの事業環境にも恵まれ、団体旅行客を中心に事業を大きく拡大することができた。現代表は長野オリンピック終了後(旅行需要の減退と顧客志向の転換期)に、勤務していた外資系コンサルタント会社を辞め同社(旅館業)に就職する。団体客から個人客へと方向転換をはかる必要性を認識し、新館(二棟)を建設するも、最初の10年間は先代との意見の違いに苦慮した。加えて組織も方向転換できず、やる気の無い指示待ち従業員が大勢を占めていた。従業員が前向きに仕事ができる職場を目指すも改善できない状況が続き、ある時中堅社員が大挙して退職してしまう危機に遭遇する。その際に、従業員からパートまで、さかえやで働く者全ての人が、主体的に仕事ができるような活気ある職場環境に改革する必要性を痛感し、それまで信奉していた経営書を捨去り、自らが率先し社員教育に注力するようになった。

そのような背景から、**I. マネジメントゲーム**:参加者1名1名が経営者として意思決定を行い、互いに競争し成果の最大化をめざし、最終的にはB/S、P/Lを作成し会計の基礎を習得する、**II. 毎日はがきを出す活動**:宿泊客や知合い宛に感謝の気持ちを伝えることの習慣化する、**III. トイレを素手で洗う活動**:やるべきことを確実に実行できるようにするCLメソッドに基づく研修、などの社内研修を実施し代表自らも毎

回参加した。地道な活動の成果として、①: 繊細な目や感性を養うこと(気づき)、②: 1つのことを最後まで責任を持ってやり遂げること、③: 人に感謝すること、④: 職場内の連帯感が醸成されること、などが挙げられる。また、約18年続けるインターンシップ(不登校や養護学校の生徒を含む)の受入れや就労支援活動は、さかえやでは業務の一環として位置づけられ、社員寮で従業員と共に寄宿する研修生の存在は組織内に適度な緊張感と連帯感を与える効果がある。

さかえやの組織改革の取組みを知った同業者や地域の企業からも、自社の従業員も研修に参加させて欲しいとの要請が増えたことから、研修合宿を商品化したり、同社のトイレ掃除活動も地域の活動として発展させ、今や「駅のトイレ清掃」や「街頭清掃」活動として地域に定着し、結束とイメージ向上の一助にもなっている。本年4月からは、さかえやの大広間はさくら国際高等学校(上田市にある広域通信制高等学校)の学習サポートセンター(フリースクール)として位置づけられ、同所で行う授業や定期試験は同校の単位として認められるようになった。また、受講者は同旅館での就労体験にも参加できるため、「社会で生きていく力」を習得する場としても期待が寄せられている。

客室数28、従業員数22、パート社員8と、規模の割には多くの雇用を創出し、自社の組織活性化活動(研修)など、長期に亘り築き上げた実績を商品化することで、旅館(本業)の稼働率向上や売上げ向上に繋げ、地域や同業者の活性化やイメージ向上にも貢献する。さらに、インターンシップや就労支援活動はやる気ある人材の採用を可能とし、青少年の健全育成や就労支援といった社会貢献活動にも繋がり、将に人に優しい宿づくりの活動が、地域や社会に貢献する宿となる事が確認できた。



視察日:平成27年5月20日(水)

視察者:選考委員 平塚良成

(特定非営利活動法人 医療事業再生機構理事長)



第18回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長賞：道後温泉旅館協同組合（愛媛県）

視察対象事業：道後オンセナート2014

経緯と実績

日本最古といわれる道後温泉のシンボルである道後温泉本館は、2014年に改築120周年の「大還暦」を迎えた。それを記念して開催された「道後オンセナート2014」は、プレオープンから数えると1年を超える期間にわたってさまざまなイベントを開催した、大がかりなアートフェスティバルである。道後温泉本館では、オープニングの目玉イベントとして本館ファサードを利用したプロジェクションマッピングを行い、4月から12月まで、霧を発生させて幻想的な雰囲気に含まれる「霧の彫刻」を行ったほか、本館内や市民の湯（椿の湯）、湯神社などを舞台としたアート作品の展示を行った。「ホテルホリゾンタル」は、道後温泉をひとつの宿泊施設と見立て、9軒のホテル・旅館がそれぞれ1室ずつ提供した部屋に国内外の著名なアーティストが空間演出を競った作品で、宿泊者のみならず、昼間の時間帯は見学者を受け入れる仕組みである。加えて、オリジナルのユニフォームや浴衣、Tシャツなどを開発し、パレードやアーティストがツアーを企画するなど地域参加型プログラムを実施し、一体的にフェスティバルを盛り上げた。

オンセナートは、温泉という地域固有の資源を核として地域全体をアートの場に見立て、新たな魅力を発信することで、域内の回遊性が高まり、宿泊客も年間10万人増加した。とくに比較的若い女性や外国人が目立つようになるなど、訪問客層も変化している。



宝荘（たからそう）ホテルの
女将宮崎さん（中央）と
道後温泉旅館協同組合の
後藤事務局長（奥）から
説明を受ける橋本委員長（手前）



客室の様子。部屋のどこかに8人の作者が隠れているという仕掛けもおもしろい



ホテルのラウンジの様子。
スイーツ、カップ&ソーサーにもデザインが施されている

評価

ホテルホリゾンタルによる昼間の時間帯の来客は旅館・ホテルに新規需要を呼び、ボランティアが町中のアート作品を案内するナイトツアーが行われるなど、オンセナートは道後温泉の新たな楽しみ方を創造したのみならず、道後温泉の旅館・ホテルの従業員や地元住民の意識変革の面でも大きなインパクトを与えた。これまでは従業員が他の旅館・ホテルに立ち入る機会は少なかったが、作品を相互に見に行くことで交流が生まれ、ライバルに刺激されてお互いに切磋琢磨するようになった。また、松山市民にとって道後温泉は、どちらかといえば観光客向けの「敷居の高い場所」であったが、オンセナートは地元の人たちが道後温泉に改めて目を向けるきっかけになったという。オンセナートは、松山市の予算や人的な面での全面的なバックアップに加え、自ら改装費をかけて参加した旅館・ホテルや商店街、大学等の協力、さらには協賛企業やプロデュース会社、旅行会社やマスコミ等の連携なしには実現しえなかった。これらの大がかりかつ斬新な試みは他の観光地が容易に真似できることではないが、こうした地域一体となった取り組みの重要性に加え、「変えてはいけないものと変えていかなければならないもの」の見極めの大切さ、チャレンジ精神とそれを実現するエネルギーが伴ってはじめて既成概念を打ち破り新たなフェーズを迎えられることなど、道後温泉の取り組みから教えられる点は多い。「最古にして最先端。温泉アートエンターテイメント」をテーマに掲げたオンセナートは、現状に満足することなく常に新たなことに挑戦する道後温泉の関係者の熱意という「源泉」に支えられた見事なアート作品として、その後も進化し続けている。



挨拶をする橋本委員長（右）
大木理事長（左手奥）と
新山常任監事（左手奥2番目）



説明をする松山市産業経済部の
みなさん

視察日：平成27年5月21日（木）

視察者：選考委員長 橋本俊哉
（立教大学観光学部教授）



全旅連青年部桑田体制 出向者研修会を 兵庫県城崎温泉で開催



所信を述べる桑田部長



マオリ族の踊り



桑田体制初の委員会



豊岡市長 中貝宗治氏の基調講演

平成27年5月13日 城崎温泉 西村屋ホテル招月庭にて、第22代青年部長桑田体制による青年部の出向者研修会が約110名の出席にて開催されました。

西村政策担当副部長による開会宣言のあと、幾世ブロック長により挨拶がされ桑田部長から挨拶ならびに活動方針が説明されました。

桑田部長からは今期のスローガンである「One for All, All for One」について、全旅連は施設の形態、大小、地域性等様々な部員の集まりですが、各県一人一人の部員の為の組織であり、全国で学んだことを一人一人に伝え、そして一人一人の声を拾い上げるよう説明がなされました。

また、青年部らしく自由に積極的にいろいろな問題に戦いを挑んでいくようにと述べ、ニュージーランドのマオリ族が戦いの前に行うハカという踊りを披露。

その後、副部長、ブロック長、委員長・副委員長が舞台上で紹介され、初の委員会を開催、全9つの委員会にて顔合わせ行い事業計画等について話し合いがなされました。

基調講演としましては城崎温泉のある豊岡市 市長 中貝宗治様より「豊岡の挑戦」をテーマに地方創成についてご講演頂きました。

豊岡市は「小さな世界都市、人口規模は小さくても世界の人々から尊敬されるまち」を目指しており、中小企業であっても世界で燦然と輝いている企業があることを述べ、①受け継いできた大切なものを守り、育て、引き継ぐ(固有性) ②芸術文化を創造する。③環境都市「豊岡エコバレー」を実現する。④「小さな世界都市」市民を育てる。⑤情報発信戦略を進める。⑥交流基盤整備を図る。の6つのテーマについて説明がなされました。

このなかで①に関しては、グローバル化の進展で世界中が急速に同じ顔になりつまらなくなっているとも言える状況では、その地の固有なものが輝くと地方創成の重要なポイントについて述べられました。

編集後記

桑田体制が始動致しました。出向者研修会翌日には県部長との意見交換会が行われ一人一人の部員までの連絡手段について話し合われております。現在すでに業界全体に関わる問題点についてアンケート収集等活発な活動がされております。今後ともみなさまのご協力をお願い致します。

広報委員長 織田 繁富



全旅連会議開催

[6月]

2日(火)

- 全旅連理事会
- 全旅連通常総会
- 全国旅館ホテル事業協同組合第15回通常総代会
- 全旅連事業サービス(株)株主総会
於:唐津シーサイドホテル(佐賀県唐津市)

3日(水)

- 第93回全旅連全国大会 in 佐賀
於:佐賀市文化会館(佐賀県佐賀市)

5日(金)

- 全国旅館政治連盟幹部会

9日(火)

- 2団体合同耐震会議

12日(金)

- 全旅連シルバースター部会幹部会
(歴代部会長と正副部会長との座談会…観光経済新聞)

16日(火)

- 全旅連青年部常任理事会他
於:男鹿萬盛閣(秋田県男鹿市)

25日(木)

- 第3回全旅連正副会長(ブロック代表)会議

29日(月)~30日(火)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)定例会議
於:旅館こうろ(京都府京都市)

----- 今後の予定 -----

7月2日(木)

- 平成27年度全旅連シルバースター部会総代会
於:都道府県会館(東京都千代田区)

お知らせ

次号9月号の発行は9月1日となります。
今号は7・8月合併号のため、8月1日の発行はありません。

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「温泉地の再生」

別府市鉄輪温泉。10年以上放置された温泉旅館跡地が見事に再生された。

温泉熱資源を活用した複合観光施設「地熱観光ラボ縁間(えんま)」。農産物・海産物の地獄蒸し(温泉蒸気で食材を蒸したもの)や竹細工工房、温泉熱を使用したハウス農園などさまざまな施設が配置される。

約1500平方メートルの敷地の中心は鉄骨2階建ての観光館。アジ・ブリ・タイなど佐伯漁港直送の鮮魚を販売する市場や簡単な竹細工を作れるコーナー、ハウス農園から収穫される高級イチゴ「軽井沢貴婦人」を使ったスイーツやソフトクリームなどを楽しめる。購入した魚介類は刺身や地獄蒸で堪能できる。

このプロジェクトは資源エネルギー庁の補助事業「地熱開発理解促進関連事業支援補助金」を活用し施設を整備した。総投資額460百万円の内180百万円を補助金で賄った。初年度売上高200百万円、営業利益30百万円を目論む。開発コンセプトは「地域に宿泊客や立寄り客を増やすため、滞在時間を延ばすことができる体験コーナーを充実。年間5万人の集客を目指し、新たな別府観光の拠点に育てたい」とのこと。様々な補助金を使った温泉地の再開発は民間主導でも可能なことを証明した好事例だ。

補助金申請など開発にかかわるノウハウの相談を含め、興味のある方はTEL0977-75-9592縁間まで。

質問・相談は
watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

いーやど
e宿 1周年記念
e宿 1周年記念
参加費無料!

お問い合わせは

e-yado-support@or.knt.co.jp

60th 近畿日本ツーリスト

初期費用0円で、
LED照明を導入



設置・調光の
工事費込み!



「水銀灯」や「投光器」も
対応します!

まずは「無料」のお見積もりを!

LED照明
レンタル
サービス

株式会社ネクシィーズBB

本社:東京都渋谷区桜丘町20-4ネクシィーズスクエアビル
0120-945-709 平日10~18時受付
※「全旅連まんすりーを見た」とお申し出ください。

全旅連協定商社会名簿

協 賛	システム・シャイン・サービス(株)	ジュース及び椅子のメンテナンス(シミ汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5435
	(株)トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
	ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 専業・マーケット開発部 市場開発室 担当次長 良田俊治	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
	丸八真綿グループ(株)マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12 8階 営業部 辻 雄太	TEL 045-471-0818 FAX 045-475-0822
	サントリーフーズ(株)	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当)〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 首都圏支社 法人開発部 法人開発二課 桑田隆之	TEL 03-3479-1528 FAX 03-3479-2104
			(西日本担当)〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F サントリーコーポレートビジネス(株) 西部支社 法人営業部 部長代理 桑田美仁	TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
	(株)リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 事業推進部営業推進グループ 山内未来	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株)セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 販売企画部 全旅連担当課長 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-5381-7832
	(株)第一興商	カラオケ機器(DAM)音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 エリアマネージャー 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	大阪ガス(株)	ガスの製造、供給及び販売、ガス機器の販売	〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町3-5-11 エネルギー開発部営業開発チーム 課長 和田 壮	TEL 06-6205-4674 FAX 06-6202-2190
	(株)コジマ	家電製品全般	〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-28-13 池袋西口共同ビル8階 営業本部営業部 法人営業室 課長 篠原久典	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	(株)エクシング	カラオケ機器販売(JOYSOUND,UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 直販営業部法人開発G 峰山直治	TEL 0120-992-173 FAX 03-6848-8186
	東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 主事 北川 恵	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
	AIU損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 センチュリープレイス山形7F 山形支店 支店長 池田 文彦	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
	キャンシステム(株)	音楽・映像放送事業、防犯カメラ事業等	〒151-0071 東京都渋谷区本町6-34-6 キャンシステム幡ヶ谷ビル2F 営業開発本部関東地区直轄営業部 課長 照井雄三	TEL 03-5358-8650 FAX 03-3377-2168
	楽天(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館 国内営業部 吉崎弘記	TEL 050-5817-3366 FAX 03-6670-5237
	(株)宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株)シーナッツ	予約・販売管理システム TL-リンカーン	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ汐留8F システムソリューション本部 営業グループ 田代一義	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
	(株)ワコム	ペンタブレット端末を活用した宿帳の電子化	〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31F タブレット営業本部 マーケティング部 VMGr マネージャー 中達隆司	TEL 03-5337-6706 FAX 03-5337-6514
	(株)iJTB	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 執行役員販売本部長 山口健一	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
	ヤフー(株)	Yahoo!トラベル 国内宿泊予約	〒107-6211 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー ショッピングカンパニー 予約事業本部 トラベル営業部 リーダー 児玉好弘	TEL 03-6864-9878
	近畿日本ツーリスト個人旅行(株)	宿泊予約サービス e宿(イーヤド)	〒163-0235 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル 35F e宿泊事業部 営業推進グループ 鶴岡潤一	TEL 03-6733-5110 FAX 03-6733-5353
	(株)JTBビジネスインベーターズ	クラウド型業務システム、自社HP予約決済システム、外貨取扱支援など	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル6階 PMS事業部 宿泊ソリューション営業課長 森 淳	TEL 03-5796-5955 FAX 03-5796-5972
	(株)ネクシィーズBB	LED照明レンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシィーズスクエアビル サービス企画課 桜井陽介	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株)エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン 「OPTIMA」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2九曜ビル3F マーケティング部 遠井一彦	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071
	(株)Ctrip Japan	中国インバウンド予約サイト 「Ctrip」	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 9F ホテル事業部日本オフィス マネージャー 有田荘志	TEL 03-5643-8551 FAX 03-5695-9390
	日本テクノ(株)	高圧電気設備保安管理・点検 電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 係長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
	推 奨	三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 東京支社 業務統括部 参事 倉場和紀
(株)フジ医療器		マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営業部 企業担当ユニット 鈴木哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601
(株)ディ・ポップス		訪日客向けSIMカードの販売	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー30F 株式会社ビヨンドゥ 代表取締役 北村陽二	TEL 03-3797-5557 FAX 03-3797-5556

(平成27年7月1日)